

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
ソーシャルワーク実習指導C		選択	2	4	後期 (集中)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
田村 正人	B308	masato.tamura	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>具体的な実習体験を、専門的知識及び技術として概念化、理論化し体系立てていくことができる能力を涵養することを目的とする。</p> <p><概要>実習記録や実習体験を踏まえて課題を整理し、実習報告書を作成する。そして実習報告会の発表準備を行い、実習報告会で自身の成果について発表する。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	実習で学んだ内容や自身の取り組みを振り返り、実習記録の整理をしておくこと。				
教科書	最新 精神保健福祉士養成講座 8 ソーシャルワーク実習指導・ソーシャルワーク実習[精神専門]/編：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版				
参考書	必要に応じて資料を配布する。				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	実習記録や実習体験を踏まえて課題を整理し、実習報告書を作成する。			HC(1)~(6)	
②	実習報告会の発表準備を行い、実習報告会で自身の成果について発表する。			HC(1)~(6)	
③					
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	授業の進め方、評価方法、学習方法について理解する。実習後指導の意義について理解する。	講義・ディスカッション	内容の振り返りを行う。	2	
2	実習記録や実習体験を踏まえ、達成度と課題を整理する。	グループワーク	内容の振り返りを行う。	2	
3	実習の達成度と課題について個別指導を受ける①	指導	指導内容を整理する。	4	
4	実習の達成度と課題について個別指導を受ける②	指導	指導内容を整理する。	4	
5	実習の達成度と課題について個別指導を受ける③	指導	指導内容を整理する。	4	
6	実習の総括として実習報告書を作成し、個別指導を受ける①	指導	指導内容を整理し、実習報告書の作成を進める。	4	
7	実習の総括として実習報告書を作成し、個別指導を受ける②	指導	指導内容を整理し、実習報告書の作成を進める。	4	
8	実習の総括として実習報告書を作成し、個別指導を受ける③	指導	指導内容を整理し、実習報告書の作成を進める。	4	
9	実習の総括として実習報告書を作成し、個別指導を受ける④	指導	指導内容を整理し、実習報告書の作成を進める。	4	
10	実習の総括として実習報告書を作成し、個別指導を受ける⑤	指導	指導内容を整理し、実習報告書の作成を進める。	4	
11	実習報告会の準備を行う①	指導・演習	発表準備を行う。	4	
12	実習報告会の準備を行う②	指導・演習	発表準備を行う。	6	
13	実習報告会の準備を行う③	指導・演習	発表準備を行う。	6	
14	実習報告会で自身の成果を発表する。	プレゼンテーション	発表から得た学びを整理する。	6	
15	実習報告会の振り返りと今後の課題のまとめを行う。	ディスカッション	内容の振り返りを行う。	2	

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

試			
---	--	--	--

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	40	40	0	20	100
総合 力 指 標	知識・技術力	0	15	0	0	0	15
	思考・推論・創造する力	0	15	0	0	0	15
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	30	0	0	30
	コミュニケーション力	0	0	10	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10

評価のポイント			評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標			
試験	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
レポート	①	✓	実習報告書の内容について、実習での学びや課題が整理されているか、体裁が整っているかを評価する。	個別にフィードバックする。
	②	✓		
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①	✓	実習報告会の発表について、発表内容や聞き手を意識した発表ができているかを評価する。	第 15 回の授業でフィードバックする。
	②	✓		
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①	✓	授業・課題に対する取り組み状況、参加状況を総合的に評価する。	個別にフィードバックする。
	②	✓		
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			

備 考

他 担 当 教 員	なし
教員の実務経験	社会福祉士を有し、13年の実務経験がある。
実践的授業の内容	教員自身の対人援助職の実務経験にもとづき、対人援助職として必要な価値・知識・技術を教授する。
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉士資格取得希望者は必ず履修すること。 ・止むを得ず遅刻・欠席する場合は、しかるべき手順を踏んで対応すること。 ・上記、指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。